安全で楽しい森林活動のために

森林活動で一番大切なことは何でしょうか。それは安全の確保です。鉈や刈払機等による怪我、落枝直撃による怪我、斜面作業中の転倒事故等、今後、気温が低下する季節となり、ちょっとした油断が大きな事故のもとになります。

以下は、森林活動を行う前に、最低限確認してほしい内容をまとめています。

効率よりも安全を最優先し、楽しく有意義な森林活動にしてください。

１　活動森林の事前点検

活動場所及びその周辺で参加者の立ち入りが見込まれる区域については、危険な立木等（枯損木、腐朽している立木、折損した枯枝等）の有無について点検を実施してください。

危険な立木等については所有者等の了解を得てその除去を行い、除去が不可能な場合には周辺をロープで囲う等、参加者に対して確実な立入禁止措置等を講じるようにしてください。

（かかり木となった枯死木）

２　服装及び携行品

肌の露出を極力抑えるため長袖・長ズボンを基本とし、頭部を保護するヘルメットは必ず着用しましょう。

携行品は、薬類（消毒・ばんそうこう・包帯など）、水分（ｽﾎﾟｰﾂﾄﾞﾘﾝｸ）のほか、雨具や防寒着等、活動当日の気候や活動内容、活動場所等から持参するものを決めましょう。

（服装例）　　（携行品）

３　損害保険（ボランティア保険等）への加入

活動中の万一の事故や怪我に備えるため、ボランティア保険等に加入するようにしましょう。

なお、刈払機やチェーンソーなどを使用する行事については、ボランティア保険の対象とならない場合もありますので、加入の際はよく御確認ください。